

Life with Green Technology

環境技術でひらく、豊かな暮らし

平成24年6月1日 ▶ 平成25年5月31日

第68期

報告書

株主の皆様へ

 三協立山株式会社

証券コード 5932



代表取締役会長 藤木 正和



代表取締役社長 山下 清胤

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、当社は経営体制の強化にむけて代表取締役会長に藤木正和、代表取締役社長に山下清胤が就任し、新しいスタートをきりました。

今後は新体制の下、社員一丸となり事業活動に注力することで「長期VISION-2020」の達成にむけ、持続的な成長を目指してまいります。

当社はこれからも「お得意先・地域社会・社員」の共栄・協業の精神のもと、お客様に喜びと満足を提供する企業活動を進めてまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

当社は、平成24年12月1日に親会社である三協・立山ホールディングス株式会社を吸収合併しておりますが、連結範囲については、それまでの三協・立山ホールディングス株式会社の連結範囲と実質的な変更はありません。従いまして、以下の記述においては、前連結会計年度と比較を行っている項目については、三協・立山ホールディングス株式会社の平成24年5月期連結会計年度（平成23年6月1日から平成24年5月31日まで）との比較、また、前連結会計年度末比較を行っている項目については三協・立山ホールディングス株式会社の平成24年5月期連結会計年度末（平成24年5月31日）との比較を行っております。

### 当期の経営環境と営業概況

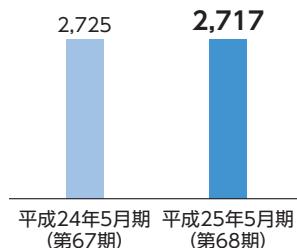
当連結会計年度におきましては、消費者マインドの改善による民間需要の拡大、震災復興需要や低金利、消費税率引き上げ前の駆け込み需要などを背景とし、景気は上向き傾向となりました。

建材市場におきましては、震災復興需要や低金利、消費税率引き上げ前の駆け込み需要などを背景とし、住宅投資、公共投資が底堅く推移しました。アルミニウム型材及びビレットの国内市場は、震災復興需要や電力買取制度によるエネルギー分野の需要の堅調さはあったものの、輸送、一般機械、電機業界の需要が低調となったことから、全般的には前年を下回る推移となりました。商業施設市場は、一部業態の積極出店や、大型店の出店届出件数が前年比増となるなど、市場に明るさが見え始める状況となりました。

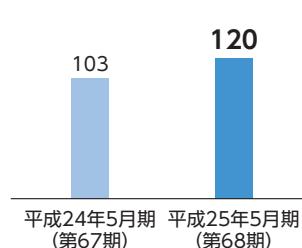
このような状況の中、当社は、平成24年12月1日に当社を存続会社とし、親会社である三協・立山ホールディングス株式会社と合併し、事業を一体運営することでグループの総合力を発揮する基盤を整備いたしました。また、同日付で東京証券取引所市場第一部に普通株式を上場いたしました。また、『さらなる成長と新たな価値創造』を基本方針とする中期経営計画の達成に向け、「改装・リフォーム事業の強化」「非建材事業の強化」「海外展開」への取り組みとともに、引き続き復興やリフォーム、省エネ関連需要の取り込み、コストダウンなど効率化に注力してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,717億57百万円（前年同期比0.3%減）となりました。利益面では、効率化やコストダウンの推進により営業利益120億73百万円（前年同期比

■売上高(億円)



■営業利益(億円)



16.1%増)、経常利益110億9百万円(前年同期比21.8%増)、当期純利益116億35百万円(前年同期比152.4%増)となりました。

当社は、グループ全体の経営基盤の強化と収益力向上によって、継続的な企業価値の向上を図り、株主の皆様のご期待に応えてまいりたいと考えております。

配当につきましては、業績状況や内部留保の充実などを勘案した上で、安定的な配当を継続して実施することを基本方針としております。当期末は1株につき普通配当20円に東京証券取引所市場第一部上場記念配当10円を加え合計30円の配当とさせていただきます。

## 今後の見通し

今後の見通しとしましては、消費税率引き上げを控えた駆け込み需要の発生とその反動減などの市場の変動影響が想定されるものの、景気対策や海外経済の回復を背景に、景気は成長を維持するものと見込まれます。一方、円安による輸入原材料価格の上昇なども見込まれます。建設市場では前年度の大型補正予算の多くが次年度に繰越されることや、復興需要、消費税率引き上げ前の駆け込み需要が見込まれ、平成25年度の新設住宅着工戸数は93万戸(前年度比104.1%)、非木造建築着工床面積は81百万㎡(前年度比101.4%)が見込まれるなど、市場は堅調に推移するものと想定しております。アルミニウム形材及びビレットの国内市場では、輸送分野におけるエコカー補助金終了の反動減からの回復、電機・一般機械分野では、円安を背景とした海外に対する価格面での競争力向上による国内需要の増加などが見込まれます。商業施設市場では、コンビニエンスストアなど好調な業態を中心に新規出店数が増加するなど、堅調な推移が見込まれます。

このような状況を見据え、当社は平成23年7月に発表いたしました「長期VISION-2020」の実現に向け、「さらなる成長と新たな価値創造」を基本方針とした中期3ヵ年経営計画を推進し、目標達成に向けた施策・投資の実施、人員面・財務面での効率的な体制の構築を推進してまいります。

## 経営理念

お得意先・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献します。

## 行動指針

私たちは

お客様  
満足

① 常にお客様の視点に立ち、誠実に対応することで、信頼される存在であり続けます。

価値  
創造

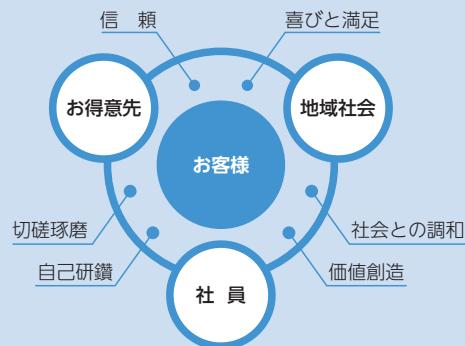
② 技術と知識の向上に努め、新たな製品の開発とサービスの提供にたゆまず挑戦し続けます。

社会との  
調和

③ 環境、地域社会、人との調和を考えて行動し、人と自然にやさしい企業であり続けます。

自己  
研鑽

④ 自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨し、働き甲斐のある企業風土を育みます。



## CSポリシー

- お客様満足を第一とし、「常にお客様の立場・視点で考え行動」しよう。
- お客様の意見に耳を傾け、「期待や問題点をしっかりと把握」しよう。
- お客様の満足実現に向け、「創意・工夫で改善、提案」しよう。
- お客様の「満足こそが仕事の成果」であると心がけよう。
- お客様の満足を、「共にわかち合えることに感謝」しよう。

# 建材事業

多様なニーズに最新技術でお応えするビル建材と「省エネ・バリアフリー・高耐久」を考慮した住宅建材、そして最新のデザインと高い品質を追求したエクステリア建材の提供を通じて豊かな暮らしの実現に貢献いたします。

売上高構成比

**77.0%**

建材事業は、建材市場が堅調に推移した一方、厳しい市場競争や為替変動に伴うアルミ地金や各種資材価格の上昇傾向が続くなど、事業を取り巻く環境が厳しさを増しました。その中で、成長分野の強化に向けた環境・リフォーム関連商品の拡充・拡販につとめるとともに、収益改善に注力してまいりました。

### ビル建材・STER

ビル建材事業では、販売網の強化やコスト改善活動を強く推進するとともに、2012年度「グッドデザイン金賞」（経済産業大臣賞）を受賞した『自然換気システム「ARM-S@NAV」』など自然換気商品の提案営業推進と商品の市場投入を行ってまいりました。改装・環境分野のSTER事業では、マンション、学校を中心とした改装提案に注力してまいりました。



東京駅専用ビル用サッシ(東京駅丸の内駅舎復原工事)



自然換気システム  
「ARM-S@NAV」  
2012年度  
「グッドデザイン金賞」  
(経済産業大臣賞)受賞

NAV-Window-21  
「キャブコン」



## 住宅建材

住宅建材事業では、販売網の強化とともに、2012年度「グッドデザイン賞」を受賞した「ラフォース採風玄関ドア」など自然換気商品の提案営業推進と商品の市場投入を行ってまいりました。

また、リフォームネットワーク「一新助家」加入店の活性化推進にも取り組むとともに、「リフォーム用玄関ドア」などをリニューアルし、市場投入を行いました。



「Sフロア」+「シート階段」



「プラメイクE」



「ラフォース採風玄関ドア」+「ナノイー」搭載内部額縁」

## エクステリア建材

エクステリア建材事業では、差別化商品の拡販に向け、庭周りの快適な空間を生み出すガーデンルーム「ハッピーナ」、ガーデンテラス「スマーレ」、広い駐車スペースを生み出す片側支持カーポート「ダブルフェース」など付加価値商品の拡販に注力いたしました。



カーポート「ダブルフェース」



ガーデンルーム「ハッピーナ」



アウトドアリビング「ソラノマ」

また、パナソニック株式会社エコソリューションズ社との共同開発により、内貼断熱リフォーム「プラメイクウォール」をはじめ、業界初の「ナノイー」を搭載した建材となる、ビル用省エネ建材『「ナノイー」搭載キャブコン(定風量給排気換気スリット)』、住宅用『「ナノイー」搭載内部額縁(玄関ドア用)』を市場投入いたしました。

以上の結果、売上高2,091億72百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益87億47百万円(前年同期比45.0%増)となりました。

### 三協マテリアル

# マテリアル事業

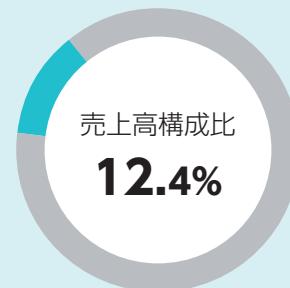
無限の可能性を秘めたアルミニウムやマグネシウムなど、次世代のマテリアルを提供しています。

マテリアル事業では、太陽光発電関連など環境・エネルギー分野の需要が底堅く推移しましたが、一般機械分野やエコカー減税終了による輸送分野などの国内需要が減速いたしました。その中で、特に営業面では、合金開発から高精度・大型形材・精密加工の一貫生産体制の強みを活かした既存領域の拡大とともに、再生可能エネルギー全量買取制度による産業用太陽光発電の需要増を踏まえた太陽光発電パネル用架台「サンステージ」を発売するなど、成長分野への販売拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、一般機械分野などの需要が減速した影響や、アルミ地金市況の低下に連動した売上が前年比で減少したことなどにより、売上高337億34百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益20億79百万円（前年同期比11.7%減）となりました。



太陽光発電パネル用架台「サンステージ」



ヒートシンク「オフセットSSタイプ」



高真円度パイプ

# 商業施設事業

ショッピングセンター等の商業施設や、店舗用の陳列機器類、看板・サイン等の屋外広告物の設計・製作・施工およびメンテナンスを提供しています。

商業施設事業では、コンビニエンスストアなどの好調な業態を中心とした拡販を推進してまいりました。また、海外においては、中国(上海)の製造・販売拠点を活用し、現地に進出している日系小売業および現地資本の小売業への販売拡大を進めるとともに、欧米を含めた海外での販売拡大などに取り組んでまいりました。

以上の結果、前年度にあった節電対応特需が収束したことなどの影響により売上高 287億 10百万円(前年同期比 1.4%減)、営業利益 9億 13百万円(前年同期比 42.6%減)となりました。



アルミショーケース「ルミグラス」



スタンドサイン「ADO-Vシリーズ」



サイン「AD-200シリーズ」

## 「第7回キッズデザイン賞」受賞 『UBキーガル』 & 『「ナノイー」搭載内部額縁』



玄関ドア電気錠「UBキーガル」

当社玄関ドア用2商品が、「第7回キッズデザイン賞」（主催：特定非営利法人キッズデザイン協議会、後援：経済産業省）の2部門で受賞いたしました。「子ども視点の安全安心デザイン一般部門」では、指一本で誰でも簡単操作が可能な「玄関ドア電気錠『UBキーガル』」が受賞、「子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門」では、パナソニック株式会社エコソリューションズ社との共同開発商品『「ナノイー」搭載内部額縁』が受賞いたしました。



「ナノイー」搭載内部額縁



## 「東京駅」 & 「採風玄関ドア」 新テレビCM全国放映

平成24年11月から「東京駅」を題材にした新CM、平成25年6月からは「採風玄関ドア」を訴求する新CMを全国放映いたしました。

（昨年10月にグランドオープンした東京駅丸の内駅舎には、当社の東京駅専用ビル用サッシが全窓採用されています。また、ラフォース採風玄関ドアは、2012年度グッドデザイン賞を受賞いたしました）



東京駅を題材にした新CMイメージ



採風玄関ドアを訴求する新CMイメージ

## 第18回中国国際キッチン&バス設備 展示会に出展

平成25年5月28日～31日、「第18回中国国際キッチン&バス設備展示会」が中国（上海）にて開催され、パナソニックの展示ブースに、当社の「プラメイクE」や「ナノイーユニット」に加えて、上海にある関連会社の上海立山商業設備有限公司が部品供給した「クローゼットシステム収納」などを参考出展いたしました。（同展は、世界最大級の住宅設備関連展示会）



「ナノイーユニット」(左) と「プラメイクE」(中央)



「クローゼットシステム収納」

## 『名探偵コナン』とタイアップ 玄関ドアキャンペーン

平成25年8月1日～10月31日の3ヵ月間、人気漫画『名探偵コナン』をイメージキャラクターとした「快適への扉を開け!玄関ドアキャンペーン」を開催いたします。

対象商品をご成約のお客様に抽選でオリジナルイラストやおそうじギフトカードなどをプレゼントいたします。また、お見積りのお客様全員にオリジナルクリアファイルをもれなく進呈いたします。



©青山剛昌/小学館・  
読売テレビ・TMS 1996

## 太陽光発電パネル用架台 「サンステージ」発売

平成24年11月、同年7月にスタートした再生可能エネルギー全量買取制度による産業用太陽光発電の需要増を踏まえ、太陽光発電パネル用架台「サンステージ」を発売いたしました。

新開発のアルミ合金(6N01系)により、軽量化・高耐食性・高強度を実現し、小規模ソーラーからメガソーラー、一般地

域から積雪地域まで幅広い対応が可能です。

また、施工時間の大幅削減や取付けの簡略化など簡単施工にも配慮いたしました。

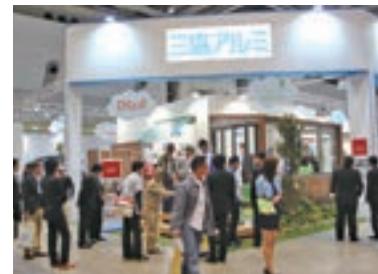


積雪地域での施工例



## 2013エクステリア 展示会活況

平成25年4月～6月にかけて、東京、静岡、福岡、仙台、名古屋、大阪の6都市で"～「Smile Garden Town」～「モノ」から「コト」へ。ミュージテリアライフのご提案!"をテーマにエクステリア商品の展示会を開催いたしました。



ガーデンルーム「ハッピーナ」「スマーレ」、カーポート「ダブルフェイス」「スマット」などの展示に加え、バーチャルコーナーでは様々なライフシーンをご提案いたしました。各会場には代理店、販売店様が多数来場されました。

## 「企業の森づくり活動」高岡市と協定締結

平成25年4月4日、当社はCSRと環境保全の一貫として、高岡市と「企業の森づくり活動」に関する協定を締結いたしました。「とやま・ふくおか家族旅行村」内の森林・雑木林(市有地)の3.5haにおいて、社員とその家族にてコナラ等の苗木を毎年500本程度、5年間植樹し、15年かけて約2,500本の苗木を育成いたします。

平成25年7月27日には、第1回の活動として、ボランティア参加の従業員による下草刈を実施いたしました。



高橋高岡市長(左)と藤木社長(右)



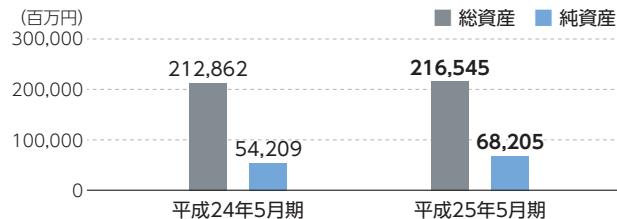
第1回の活動の様子

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成25年5月31日現在	平成24年5月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	107,284	107,149
現金及び預金	24,772	23,849
受取手形及び売掛金	51,521	55,385
商品及び製品	11,130	11,300
仕掛品	14,295	12,953
原材料及び貯蔵品	3,514	3,149
繰延税金資産	1,474	126
その他	4,009	3,752
貸倒引当金	△3,434	△3,368
固定資産	109,261	105,712
有形固定資産	92,489	92,298
無形固定資産	835	958
投資その他の資産	15,935	12,455
資産合計	216,545	212,862
<b>負債の部</b>		
流動負債	105,397	110,825
支払手形及び買掛金	46,580	48,920
短期借入金	22,062	25,541
その他	36,754	36,362
固定負債	42,942	47,827
長期借入金	24,384	28,870
その他	18,557	18,956
負債合計	148,340	158,652
<b>純資産の部</b>		
株主資本	63,699	52,663
その他の包括利益累計額	3,724	870
少数株主持分	781	676
純資産合計	68,205	54,209
負債純資産合計	216,545	212,862



前期の数値は、三協・立山ホールディングス(株)の数値としています。

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成24年6月1日～平成25年5月31日	平成23年6月1日～平成24年5月31日
売上高	271,757	272,554
売上原価	201,687	203,780
売上総利益	70,069	68,773
販売費及び一般管理費	57,996	58,375
営業利益	12,073	10,398
営業外収益	1,765	1,688
営業外費用	2,829	3,049
経常利益	11,009	9,037
特別利益	834	118
特別損失	1,255	2,775
税金等調整前当期純利益	10,588	6,380
法人税等	△1,149	1,661
少数株主損益調整前当期純利益	11,737	4,718
少数株主利益	102	108
当期純利益	11,635	4,609

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成24年6月1日～平成25年5月31日	平成23年6月1日～平成24年5月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,525	11,957
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,374	△3,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,168	△9,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	974	△444
現金及び現金同等物の期首残高	17,656	22,890
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	339	53
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	5,020	177
現金及び現金同等物の期末残高	23,990	22,677

## 会社概要

会社名 三協立山株式会社  
 所在地 〒933-8610 富山県高岡市早川70番地  
 設立 昭和35年6月20日  
 資本金 150億円  
 従業員数 5,857名  
 U R L <http://www.st-grp.co.jp/>

## 取締役および監査役 (平成25年8月27日現在)

代表取締役会長	藤木正和
代表取締役社長	山下清胤
取締役副社長	蒲原彰三
常務取締役	岡本誠
常務取締役	庄司美次
常務取締役	山田浩司
取締役	中野敬司
取締役	三村伸昭
常勤監査役	大原達夫
常勤監査役	牧文夫
常勤監査役	市山久一
監査役	角木完太郎
監査役	荒木二郎

## グループ図



## 株式の状況

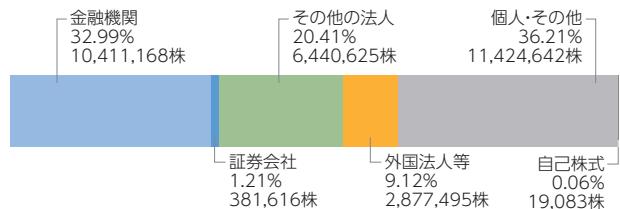
発行可能株式総数…………… 150,000,000株  
 発行済株式の総数…………… 31,554,629株  
 株主数…………… 24,214名

## 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 出資比率	
	千株	%
住友化学株式会社	2,235	7.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,119	6.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,270	4.03
三協立山社員持株会	1,165	3.70
三協立山持株会	976	3.10
三井住友信託銀行株式会社	971	3.08
ザチェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	947	3.01
株式会社北陸銀行	888	2.82
ST持株会	854	2.71
第一生命保険株式会社	445	1.41

(注) 出資比率は自己株式19,083株を除いて算出しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日  
定時株主総会 8月  
基準日 定時株主総会 5月31日  
期末配当 5月31日  
中間配当 11月30日

上場証券取引所 東京  
公告方法 電子公告 (<http://www.st-grp.co.jp/>)  
※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
<郵便物送付先> 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
<電話照会先> ☎ 0120-782-031  
<インターネットホームページURL> <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

### 単元未満株式の買取請求および買増請求の取扱い

単元(100株)未満の株式の買取請求および買増請求は、その単元未満株式が記録されている口座の口座管理機関までお問合せください。

## ホームページのご案内



詳細な財務情報やニュースリリース等は、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.st-grp.co.jp/>

三協立山

検索

## 今後のIRスケジュール

2013年  
10月上旬

平成26年5月期  
第1四半期決算発表

2014年  
1月上旬

平成26年5月期  
第2四半期決算発表

2014年  
2月上旬

平成26年5月期  
中間報告書発送

 三協立山株式会社

〒933-8610 富山県高岡市早川70番地  
TEL 0766-20-2500

UD  
FONT



この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。